

むなかた日和

～2014年度 むなかた電子博物館新着情報に掲載された主な記事から～

2014年6月17日

いせきんぐ宗像&宗像高校文化祭ツアー



5月31日午前10時より、宗像市主催・いせきんぐ&宗像高校文化祭ツアーが行われました。

「いせきんぐ宗像」とは2010年に弥生時代の遺跡として国指定になった、田熊石畠遺跡の愛称です。

この日は高温注意報も出るほどの真夏日、遺跡公園（2015年度オープン）に集まった参加者は、真っ先に今年2月に自分たちで植えたヤマザクラの木のある場所へ行き（ネームプレート付き）、「元気の育っているね」などと声をかけています。中には、クモの巣状の害虫が付いていたり、葉の裏に白い卵を見つけて、丁寧に取り除いていました。

おばあちゃんと孫と二人で参加した方は「おばあちゃんが死んでもぼくがこの木の面倒をみるよ。と言ってくれています」「大切に見守って行きたい」「芝張のイベントから参加しています」とのことでした。

この他

- ・ 晴天が続くので水やりに来たいと思う。
- ・ 芝の草取りはこれまでの参加者に全員集合を呼び掛けては?

などの声が聞かれました。

その後「寄り合いどころ」に集まり受付。60人程の参加者は2班に分かれて、園内を歩きながら遺跡についての説明を聞き、休憩をはさんで、宗像郷土館跡を見学、歩いて宗像高校へ行き四塚会館展示室を見て、宗像高校の文化祭へ参加しました。



寄り合い処で説明を聞き、広い遺跡見学へ



環濠の出入り口、中には貯蔵穴があった。
背景は許斐山。



環濠の周囲は市民の手作りで柵を建てる予定。



環濠の傍には船着き場があった。



遺跡についての案内板はリングで止めたファイルの
ように手でめくって読める。



竪穴式住居を復元する場所。



中央の広場は分譲してフラワーコンテストを？



弥生時代の青銅製の武器 15 本が出土した墓地。お墓は 1 つ 1 つ重ならないように整然と並んでいます。翡翠（ひすい）の勾玉や、垂れ飾りなど貴重な副葬品が出土しました。



遺跡の周囲の気象情報を記録する
気象ステーションが設置されています。



郷土館跡地を見学して、宗像高校へ行きました。

校内にある宗像高等女学校門柱。
2本の石柱は校門があった場所から移設された。

田熊石畑遺跡は女学校の運動場拡張工事の際、国語の教師であった田中幸夫先生によって発見され調査されました。昭和初期、宗像における初めての遺跡発掘調査です。2010年、国指定の史跡となりました。

田中先生によって発掘された遺物は、四塙会館3階の展示室で見ることができます。



展示物を見学



2階では世界遺産登録推進室によるDVD「沖ノ島を世界遺産に」を上映

中庭のステージではにぎやかに文化祭のアトラクションがおこなわれています。

宗像高校の今年度のメインテーマは「咲」。それぞれの輝く個性を思う存分發揮し、全校生徒の笑顔がいっぱいの文化祭にし、見に来て下さった方を笑顔でいっぱいにして、幸せな気持ちになれる文化祭をつくりあげたい、という気持ちをこめたテーマです。



中庭のステージで行われた男子生徒による火起こしコンテスト



校門の近くのテントでは一般の参加者による勾玉づくりと火起こし体験が行なわれました。



文化財職員による火起こし体験



滑石を削って勾玉づくり

田熊石畠遺跡歴史公園は2015年7月の本オープンに向けて、宗像市と市民（村づくりの会）協働により準備が進められています。

今後の行事予定は次のように計画されています。

2014年 8月 夏休みいせきんぐ宗像体験塾（東郷小学校）

9月7日 シンポジューム「邪馬台国とムナカタ国」
(ユリックス・ハーモニーホール)

5月～9月 遺構復元整備（宗像市）

2015年 1月～2月 木柵づくり（市民参加整備）

むなかた電子博物館ではこれまでに下記の関連情報を発信しています。
ご覧ください。

新着情報

2014年3月6日 「いせきんぐ宗像」植樹祭が行われました

<http://d-munahaku.com/news/dtl.jsp?kid=92072&cgid=1002>

新着情報

2013年7月3日 田熊石畠遺跡歴史公園プレオープンイベント開催しました

<http://d-munahaku.com/news/dtl.jsp?kid=91933&cgid=1001>[1002]

むなかた電子博物館紀要第5号

市民と楽しむ「いせきんぐ宗像」の歴史公園づくり 白木 英敏

http://d-munahaku.com/culture/kiyou/j-kiyou_2013.html

むなかた電子博物館運営委員 平松秋子